



■機械工事
新幹線の機械設備は、エレベーターなどの昇降機、可動式ホーム柵や改札機・券売機などの出札設備、建物の空調設備が主なものです。このほか、車両メンテナンスのための装置や雪害対策設備があります。

お聞きしました。



鉄道建設・運輸施設整備支援機構 敦賀鉄道機械建設所長 安木 興 氏



Profile にしやま・あやか

1996年10月10日生まれ。岐阜県恵那市出身。イベント制作会社や旅行会社、ライターを経験を経て、敦賀市地域おこし協力隊に就任。

地域おこし協力隊 #01 Report

敦賀市初の地域おこし協力隊に就任した西山さんに、これからの意気込みなどを聞きました。

地域おこし協力隊になったきっかけは？

今年の4月、勤めていた会社がコロナの影響で休業に。休業中は東京を拠点にライターの仕事をしていました。が、ライターの仕事は東京以外でもできる上に、東京での暮らしは固定費が高いと感じていました。そんな時、福井に住む知人から、越前海岸にあるシェアハウスを紹介してもらいました。以前から地方移住に憧れを持っていたので、お試し移住で2か月間越前海岸で暮らしてみたいと、東京以外でも面白い所があることを知り、各地を転々とする生活も面白いと思いました。

地域おこし協力隊になったきっかけは、地域情報を収集するために登録した移住定住マッチングサービスを通して、敦賀市から届いた案内でした。越前海岸での短期移住は、8月1日から9月30日まで。それに対し、敦賀市地域おこし協力隊の任期は10月1日からと、タイミングの良さを感じました。福井県に短期移住していたこと、業務内容が自分の経歴にマッチしていたこと

と、北陸新幹線敦賀開業に向けて盛り上がっていく街に興味を持ったことなど、様々な巡り合わせがあり、地域おこし協力隊に応募することを決めました。

活動内容を教えてください

敦賀市の情報発信をいっつ、地域活動にも参加します。地域の方々と一緒に活動する中での発見も発信していきたいです。各種SNS、noteなどのウェブサイト(左のQRコード参照)、敦賀市の移住定住サイトでのコラム掲載を予定しています。

まずは、敦賀のことや、敦賀で暮らす人々のことを知ることから地道に活動をしていきたいと思います。敦賀には地元を盛り上げようと様々な活動をする人がいることを知ったので、情報発信役として、敦賀を盛り上げるお手伝いをしていきたいと思います。

また、趣味で地元食材を使った流しのおでん屋をしています。おでんを囲んで交流することに面白さを感じており、おでんが敦賀の魅力を発信するツールになると考えています。流しのおでん屋活動の中でも、敦賀のことを発信していきたいと思っています。



note
西山さんが敦賀に来てみて思ったこと、感じたことを率直に書いています。ぜひご覧ください。

■駅舎設備工事

敦賀駅では、待合室などに空調・換気設備を整備します。また、列車運行のための信号機器や通信機器を設置する信通機器室にも、機器を保護するための空調・換気設備を整備します。昇降機設備は、エレベーターやエスカレーターのほか、動く歩道を整備します。新幹線改札内のエスカレーターの設置台数は、整備新幹線では最大の14基



自動改札機



可動式ホーム柵



エスカレーター

■車両基地・保守基地 検修機械設備工事

新幹線電車は、距離や期間に応じた様々な検査を行います。敦賀車両基地は、車体や台車、パンタグラフなどの状態を確認する「仕業検査」を行う基地



先頭車修繕装置

門型クレーン

地で、検査時に使用する機械装置を整備します。また、冬季は台車に付着した雪を落とす台車融雪作業も行い、新幹線の安定運行を支えます。保守基地は、営業車が走行する前に線路上の状態を確認する確認車や軌道や電車線の保守用車の留置・検修、レール授受などを行う基地です。保守車両への給油や点検を行う設備のほか、レール交換時に保守用車両にレールを積み込むための門型クレーンなどを整備します。

■雪害対策設備工事

雪の多い北陸地方では、雪害対策が欠かせません。北陸新幹線では、約10℃の水を線路に撒いて融雪する「散水消雪設備」を設置します。この設備は、線路わきのスプリンクラーから散水し、線路上の雪を融かします。撒いた水は融かした雪とともに回収し、再加温して散水します。このタイプは、昭和57年開業の上越新幹線で採用された実績ある方式です。散水量は、0.7ℓ/300・300で、バケツをひっくり返したように降る。激しい雨相当の水量です。

また、分岐器(ポイント)可動部分に雪が挟まり、転換できなくなることを防ぐため、「温水式急速除雪装置」を整備します。これは、40℃のお湯を20秒間噴射し、雪を飛ばします。平成30年2月に福井県嶺北地方・石川県加賀地方は記録的大雪となりましたが、北陸新幹線は運休することはありませんでした。雪害対策設備は、「雪に強い北陸新幹線」の縁の下の力持ちです。



散水消雪設備

温水式急速除雪装置

■工用機械装置

鉄道・運輸機構の機械部門は、新幹線の軌道敷設や架線延伸などの特殊工事を効率的に行うための「工用機械装置」の管理・運用も行っています。整備新幹線建設でしか見ることができない工用機械装置も、遠くない時期に市内で見られることとなります。

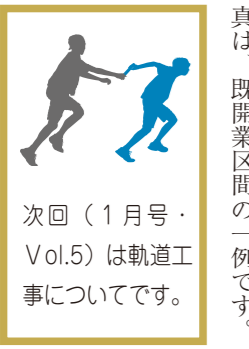


スラッシュ搬送敷設車

架線延伸線車

現在、機械工事は、信通機器室の空調・換気設備工事を行っており、そのほかの工事は来年度から本格化します。機械設備は、新幹線を快適にご利用いただくために、そして列車を安全に運行させるために必要な大切な設備です。市民の皆さんのご協力を得ながら、工事を進めていきますので、どうぞよろしく願います。

※本編で紹介した機械設備の写真は、既開業区間の一例です。



次回(1月号・Vol.5)は軌道工事についてです。